

「ジリリタ」があふれる学校

みなさんは保護者がどのような子に育てほしいと願っていると思いますか？企業が保護者 1200組を対象にアンケートをとったところ以下のような結果になりました。(3～5歳男女児を持つ保護者)

【質問】どんな子どもに育てほしいと思っていますか？

■第1位＝思いやりのある子（60％）

- ・「私自身、『思いやりが大切』と言われて育ち、それが人間関係においていかに大切か実感しているから」
- ・「将来社会で役立つ『生きる力』は、対人間で物事を考えられるということだと思う。そのためにもまず、『思いやりとは？』ということについて、自分の力で考えさせるようにしている」
- ・「まずは人として最低限のことができる子になってほしい。そのためにも、親が思いやりある行動をしなくちゃ」

■第2位＝友だちを大切にする子

- ・「家族はもちろんですが、困ったときに助けて励ましてくれるのが友だち。私自身、小中高で仲よくなった友だちが今でも支えてくれているので」
- ・「私にとって、何かあったときに助けになるのが友だちの存在だったので、子どもにも友だちを大事にしてほしいと思っています。そのためにも、相手の立場で考えるように話しています」

【学研教育総合研究所 白書シリーズ web版 2017/8】

保護者は「成績がよいとか、運動・スポーツができる」とかではなく、相手の立場に立って物事をとらえることができる人間味あふれる子どもに育てほしいと願っているようです。ちなみに「勉強ができる子」と答えたのは2%しかいませんでした。(子どもの年齢が上がるほど、選択する割合は減少)

中学生になったみなさんは、そういう子どもに育てていると思いますか？紫原中学校では、思いやりのある子がたくさんいると私は思っています。そう思えた出来事が昨日ありました。

下校途中に、下級生がケガをしてうずくまっている中、3年生の女子3名が心配して声かけをしてくれました。そして、その状況を見ていた地域の方が、中学校に連絡をくれました。先生方が向かう間も3年生の生徒達は心配で下級生を見守ってくれていました。

この話を聞き、3名の3年生の女子生徒たちは、保護者の願っていた「思いやりのある子」に育っているなと感じました。

相手の幸せを願い、思いやりを持ってかけた言葉や行動は、必ず自分自身の幸せとなって返ってくることを、仏教用語で「自利利他(じりりた)」といいます。(利＝幸せ)その一方で、自らの利のみを求める自己中心的な考えを、「我利我利(がりがり)」といいます。

コロナ禍(まん延防止重点措置期間)で中々思うようにいかない時期だからこそ、ガリガリではなく、ジリリタの考え方が増えると、思いやりのある3年生のような行動が自然に生まれ、紫原中全体が思いやりの輪が広がっていくのではないのでしょうか。

